

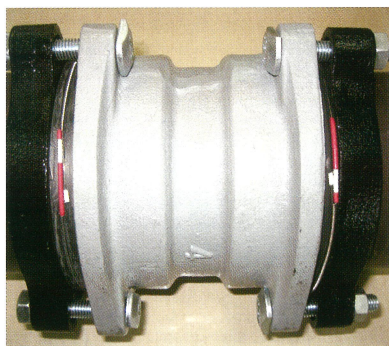
部材の締結…耐震機能付き高機能排水システムの開発

既に開発されていた、排水鋼管同士をつなぐジョイント「可とう継手」のパッキン外周に装着する「PPCリング」の量産化を実現。

継手の適正な締め付け量を視覚で確認できるように工夫されており、マンシヨンやオフィスビルなどでは数千カ所とされる継手作業の迅速化を目指している。

継手は従来、ボルトとナットを工具のトルクレンチで締め付け、「カチッ」という音で締め付け完了を確認していた。しかし、再確認を行う場合は再度トルクレンチをかけて、音で確認するしかなかった。

継手パッキンは工具で締め付けられることにより圧縮され、継手とフランジの隙間からはみ出す。PPCリングは、はみ出したパッキンの外周に取り付けられ、管理と指示の二つのマーカーを付けることで視覚化した。二つの白色マーカーが重なり合えば、締め付けが完了したことになる。



白色のマーカーが重なっていない左側は締め付け不十分。右側はマーカーが重なっているので完了。

目視で確認しながら作業できることで、経験を重ねた習熟者でなくても作業スピードが上がり、作業管理者のチェック、施工後の状態チェックも容易になるという。また、継手部分

には鋼球が入っており、脱管を防止し耐震機能の向上を図っている。リングは二つの太さ0.3ミリのステンレス製の線材をレーザで溶接。レーザの直径が0.4ミリのため、溶接位置の精度を上げた自動溶接機の開発が量産化につながった。PPCリングは商品名「ミエルワ」として今年6月から本格販売されている。

【伊藤鉄工株式会社】

本社は川口市元郷3-22-23。伊藤光男代表取締役。1931年に創立し鋳物のストープ製造をスタート。49年に排水用鋳鉄管、55年に建設用鋳鉄器材の製造・販売を開始する。マンホール、車止めなどの鋳物製品の総合メーカーとして全国に展開。鋳物職人の技を生かした鍋やフライパンなども製造している。